

サマーキャンプに参加して

石川桜夢

私は今回のサマーキャンプは自分の人生観が少し変化した旅でした。まずは海外の友達との出会いです。今回の活動で自分の英語力で本当に友達ができるか不安でしたが同じグループのロシアの女の子は顔を合わせる度に私の名を呼び、手を振り、日本語で一生懸命書いた手紙やプレゼントを沢山くれました。本当に嬉しく、自分もその気持ちを伝えたいけど、英語で伝えることの難しさ、自分の語彙力のなさを痛感しました。お互いの言語が違って諦めずに英語で会話が出来た時は心が通じ合えた気がしました。帰国後、ロシアの女の子はいつか日本に来て、もう一度会いたいと日本語の勉強を続けているとメールが来ました。自分がそのきっかけになれた事がとても嬉しく、再会の時が来たら色々な場所に連れて行ってあげたいと思います。

次にシラムレン草原では馬や羊が沢山放牧されており、見渡す限りの草原に世界の広さと同時に自分がいかに小さい存在なのかも感じました。そこで行ったグループ行動では韓国やタイの子と共通の趣味の話で盛り上がりコミュニケーションを取ることができました。

中国の良さも知れたことも大きな収穫でした。北京動物園に行った時に人の多さに圧倒され入場する際に並んでいても後ろからグイグイ押され、当初私

は中国に合わないかもなんて思っていたましたが 8 日間過ごして良さも沢山見つけました。中国人はフレンドリーな人が多く初対面でもまるで知り合いのように気を遣わず楽しそうに話している姿を新幹線やタクシーなどの様々な場面で見ました。これは日本にはない中国の良さだと思いました。

今回参加するにあたり、日本と比較してマイナスばかり見つけないように心がけ、不便なことも経験だと思えるようにしたら少しずつ日々楽しくなっている自分がいました。

私は高校 3 年で受験生という立場でサマーキャンプに参加するかをとても悩みました。この 3 年近くコロナ禍で色んなことにチャレンジする機会を沢山逃してきました。これからの自分の為にも思い切って参加して本当に良かったとそしてこの経験を生かして視野を広く持って進んで行きたいと思います。



